

静岡県立大学看護学部 DP達成度ルーブリック評価表

基準について：「3」は、大学卒業時までの学修の成果として身につけてほしいレベルを表します。
「1」「2」は、「3」に到達するまでの中間段階で、在学中のどこかで達成してほしいレベルです。
「4」は、「3」に到達後のより良い到達度レベルです。

R4カリ学生用

該当年次	DP		DPに対応する科目 (◎の科目のみ記載)	項目の解説	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
1年前期～4年後期 1年前期 1年後期 1年通年 2年前期	DP1： 幅広い教養を身につけ、「ひと」および「ひと」を取り囲む生活や地域社会、環境に関する知識を有している	DP1-1 幅広い一般教養を身につけている	1年生前期～4年生後期：(全学共通科目) 基礎分野Ⅰ（第1部門、第2部門、第3部門、総合科目）、日本国憲法、教育学 1年前期：フレッシュマンイングリッシュⅠ 1年後期：フレッシュマンイングリッシュⅢ 1年通年：基礎分野Ⅱ（身体運動科学） 2年前期：英語コミュニケーションⅠ	主に全学共通科目及び基礎分野Ⅱ（英語等）の履修状況と単位取得状況から判断してください。 一般教養とは、看護の対象となる人や対象の生活している地域社会、環境を身体的・心理的・社会的・文化的（個人の生活様式、価値観、信念）側面から多角的に理解するために、社会を形作る文化や制度、社会経済構造、行動科学・社会科学、保健・医療福祉制度、疫学、法学等の幅広い一般教養を指します。 また、この項目は、国際社会に対応できる語学力を身につけることも含みます。	社会人としての幅広い一般教養を十分に身につけている。	社会人としての幅広い一般教養を身につけている。	社会人としての幅広い一般教養を身につつつある。	社会人としての一般教養が不十分である。
1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 3年前期		DP1-2 「ひと」および「ひと」を取り囲む生活や地域社会、環境に関する基礎的知識を身につけている	(専門基礎分野) 1年前期：人間関係論Ⅰ、人間関係論Ⅱ、機能形態学Ⅰ、生物化学、公衆衛生学 1年後期：機能形態学Ⅱ、基礎健康科学演習、症候論、微生物学、社会福祉論、保健医療統計学、情報処理演習 2年前期：臨床薬理学、臨床栄養学、病態学 2年後期：臨床心理学、医療・看護経済学、疫学（専門教育科目） 1年前期：看護学概論、基礎看護技術Ⅰ 1年後期：基礎看護技術Ⅲ、公衆衛生看護学概論、 2年前期：母性看護学概論、ヘルスプロモーション、母性看護学概論、ヘルスプロモーション、 2年後期：慢性看護学概論、老年看護学概論、老年看護援助論、母性看護援助論Ⅰ、小児看護学概論、精神看護学概論、地域家族支援論、保健医療システム論、公衆衛生看護活動論Ⅰ、 3年前期：母性看護援助論Ⅱ、小児看護援助論、精神看護援助論、在宅看護学概論、公衆衛生看護活動論Ⅱ、公衆衛生看護管理論Ⅰ	主に専門基礎分野や専門教育分野の概論や援助論、支援論、活動論等の履修状況と単位取得状況から判断してください。 専門知識とは、看護職が対象とする人や領域（家族及び集団）、人間の健康、生活、社会を理解し、健康ニーズに対応するためのアセスメントを行う根拠となる必要な専門知識を指します。	看護実践を展開するための素地として、看護職が対象とする人や領域をアセスメントするための根拠となる専門知識を十分に身につけている。	看護実践を展開するための素地として、看護職が対象とする人や領域をアセスメントするための根拠となる専門知識を身につけている。	看護実践を展開するための素地として、看護職が対象とする人や領域をアセスメントするための根拠となる専門知識を身につつつある。	看護実践を展開するための素地として、看護職が対象とする人や領域をアセスメントするための根拠となる専門知識が不十分である。
1年前期 2年前期 2年後期 2年通年 3年前期 4年通年	DP2: 豊かな人間性と倫理観を持ち、科学的根拠に基づいた思考・判断を説明できる	豊かな人間性と倫理観を有し、それらを反映させた思考・判断を説明できる。	1年前期：基礎セミナーⅠ、運動と健康の生理学、健康環境論、看護コミュニケーション論、公衆衛生看護基礎実習 2年前期：健康行動論、看護アセスメント方法論、 2年後期：看護と倫理、慢性看護援助論演習、コミュニティ・アセスメント論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、 2年通年：基礎セミナーⅡ 3年前期：老年看護学演習、小児看護学演習、精神看護学演習、在宅看護学演習、看護研究、公衆衛生看護方法論、看護研究、公衆衛生看護管理論Ⅱ、公衆衛生看護方法論 4年通年：感染看護演習アドバンス	主に、看護と倫理の履修状況、演習科目や実習科目での思考判断の場面において人間性や倫理観を意識しているかどうか、また常に人間性や倫理観を高める努力をしているかどうかを指します。 人間性を有するとは、他者への気遣い、思いやり、愛情などを持って対応できることです。また、倫理観を有するとは、人間の生命と尊厳及び権利を尊重すること、対象者の意志を尊重できることです。倫理的葛藤場面では、他者の助言を受けながら、対象者にとって最もよい方法を適切に判断ができることなどが含まれます。 主に、専門教育科目の看護アセスメント方法論、各領域の看護過程に関する演習などの修得状況から判断してください。 科学的根拠に基づいた看護計画を立案することができ、それを説明できることを指します。ここでは、まず、ガイドラインの活用や文献検索によりエビデンスレベルの高い臨床研究結果を見つけること、次に、それらを基に、科学的根拠に基づいた看護計画を立案できること、そして、それを他者に説明することができること、が含まれます。	常に人間性や倫理観を高める努力をしており、対象者への気遣いや思いやりを持ち、対象者の権利や意志を尊重した思考・判断ができてきている	人間性や倫理観を高めようとする努力をしており、対象者への気遣いや思いやりを持ち、対象者の権利や意志を尊重した思考・判断ができてきている	対象者への気遣いや思いやりを持った思考・判断、対象者の権利や意志を尊重した思考・判断のうち、どちらかを行うことができています	人間性や倫理観を高めようとする努力しておらず、対象者への気遣いや思いやりを持った思考・判断、対象者の権利や意志を尊重した思考・判断のどちらもできない
1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 3年前期 3年後期	DP3: あらゆる「ひと」と地域社会の健康課題とそれらに対する対応を統合的に考え看護を実践できる		1年前期：フレッシュマンイングリッシュⅡ、基礎看護実習Ⅰ、 1年後期：フレッシュマンイングリッシュⅣ、基礎看護技術Ⅱ、 2年前期：看護アセスメント演習、基礎看護実習Ⅱ、 2年後期：英語コミュニケーションⅡ、基礎看護技術Ⅳ、 3年前期：急性期看護援助論演習、母性看護学演習、 3年後期：慢性看護学実習、急性期看護学実習、老年看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅱ、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習、公衆衛生看護学演習	主に各領域の演習、実習等の学生の実践状況から判断してください。 特に看護実践においては、対象者を全人的・統合的に捉えることが必要であるため、生活者としての側面と身体的・精神的側面を包括的に理解して看護を展開するために必要となる知識が求められます（コアカリキュラムp8）。対象者・地域の健康課題を全人的・統合的に捉えた実践可能な計画を立案し、指導者の見守りの下で主体的に実践できることを指します。	あらゆる「ひと」と地域社会の健康課題とそれらに対する対応を踏まえた看護を指導者の見守りの下、主体的に実践できる	あらゆる「ひと」と地域社会の健康課題とそれらに対する対応を踏まえた看護を指導者の見守りの下、実践できる	あらゆる「ひと」と地域社会の健康課題とそれらに対する対応を踏まえた看護を他者のサポートを受けながら実践できる	あらゆる「ひと」と地域社会の健康課題とそれらに対する対応を踏まえた看護を行うことが難しい
1年後期 3年後期 3年通年 4年前期 4年通年	DP4: チームの一員として、健康の課題や地域社会の課題に対する解決策を表現できる。		1年後期：地域包括ケア 3年後期：在宅看護学実習 3年通年：多職種連携実習、 4年前期：臨床シミュレーションEBN実習、公衆衛生看護学実習Ⅱ、公衆衛生看護学実習Ⅲ 4年通年：発展看護実習	主に、左記に示す専門職種との連携を学ぶ実習の履修状況や単位取得状況から判断してください。 チームとは、看護職で構成されるチーム、患者・住民を中心に看護職、他職種・多職種などの専門職で構成されるチームを指します。看護職には、複雑化する健康課題や地域社会の課題に対して、多種多様なスタッフが、高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、互いに連携・補完しあい最善のケアを提供することが求められます。この項目では、チームにおける看護職としての役割を認識して、看護者の立場からの解決策を表現できることを意図しています。	チームの一員として、健康の課題や地域社会の課題解決に向け、実現可能な意見を述べることができる。	チームの一員として、健康の課題や地域社会の課題解決に向けた意見を述べることができる。	チームの一員として、健康の課題や地域社会の課題解決に向けた意見を述べるしながら、述べるることができる。	チームの一員として、健康の課題や地域社会の課題解決に向けた意見を述べることが難しい。
1年前期～4年後期 1年前期 1年前期 2年前期 2年後期 4年前期 4年後期 4年通年	DP5: 社会の動向及び保健医療福祉の課題や政策に関心を持つことができる。		1年前期～4年後期：海外英語研修 1年前期：身体と心のセクシュアリティ、健康環境論 2年前期：保健福祉行政論、国際保健・災害看護論、 2年後期：国際看護論、災害看護セミナー 4年前期：国際保健・看護演習 4年後期：看護管理論、看護政策論、看護キャリアデザイン論 4年通年：国際保健・看護実習	左記該当科目の履修状況や単位取得状況から判断してください。このDPIは、看護の対象と対象を取り巻く環境に広く目を向けることを指します。 社会の動向や、対象の多様性の理解、看護の場としての災害看護や国際看護に関心をもつこと。そして、保健医療福祉の課題を解決するための政策にも関心をもつことです。	社会の動向、対象者の多様性、看護の場、保健医療福祉の課題と政策に関心を強くもつことができている。	社会の動向、対象者の多様性、看護の場、保健医療福祉の課題と政策に関心をもちつつある。	社会の動向、対象者の多様性、看護の場、保健医療福祉の課題と政策に関心をもちつつあるが、不十分なものもある。	社会の動向、対象者の多様性、看護の場、保健医療福祉の課題と政策に関心をもちつつない。
3年通年 4年通年	DP6: 看護学の発展に寄与するために、探究心と主体性を身につけている (※評価する学生は4年生のみ)		3年通年：卒業研究A 4年通年：卒業研究B	卒業研究を通して、よりよい看護実践について主体的に課題を探究することができたかどうかを評価してください。 「他者の支援」とは教員の指導を含みます。 看護学の発展に寄与するとは、看護研究の成果が看護実践の根拠として看護の対象である人々への支援に還元されること、または、看護学の専門性の発展に役立つことをいいます。学部教育では看護学生の将来的な研究活動の基盤を作ることが目標となります。（参考：H29看護学教育モデル・コア・カリキュラムp51）	卒業研究のリサーチエクッション（RQ）を自分自身で考えることができ、他者の支援をうけながら探究心をもって主体的にRQを解決できた。	他者の支援をうけながら、卒業研究のリサーチエクッション（RQ）を考え、RQを解決できた。	他者の支援をうけながら、卒業研究のリサーチエクッション（RQ）を考え、RQに対する解決能力は不十分であった。	他者の支援をうけても卒業研究のリサーチエクッション（RQ）を考えることは難しく、RQに対する解決は不十分であった。